

令和8年度 第35回全国女性建築士連絡協議会（東京）の開催について(ご案内)

男性会員・会員外・学生の方も参加可能ですので、ご興味のある方は是非ご参加下さい。

- 日程 令和8年7月19日(日) [CPD3]
令和8年7月20日(月・祝) [CPD2] ※詳細は資料1をご参照ください

●開催趣旨

令和8年度第35回全国女性建築士連絡協議会では、テーマを『未来へつなぐ「まち・ひと・建築」』～対話から生まれるかたち～』といたしました。基調講演では、建築家・SUEP.末光弘和氏+末光陽子氏より「対話が紡ぐ環境デザイン未来へつなぐ風、光、熱のかたち」をテーマにご講演いただきます。また、地域の建築士会活動報告や被災地報告も予定しております。

●分科会について

6つの分科会を予定しております。それぞれの分科会にて討議し、全体会にて発表を行っていただく流れとなります。分科会には定員がありますので、申し込みが集中した場合、ご希望に添えない場合があります。申し込みの際に希望コースを必ず第2希望までお書きください。分科会の概要については、資料3を参照してください。各分科会は、後日、連合会女性委員会のホームページ上で動画配信を予定しています。ご参加の叶わなかった分科会はそちらをご利用ください。

●参加費用等について

全建女参加費（資料代含む）	建築士会会員	会場参加	3,000円
		オンライン	1,500円
	会員外	会場参加	4,000円
		オンライン	2,500円
学生	会場・オンライン	無料	

開催当日、オンライン接続の状況により受信ができなかった場合も、参加費用の払い戻しはございません。後日、動画配信を予定しておりますのでそちらをご利用ください。

今年よりオンライン参加の方への要旨集送付は無く、pdfデータを送付させていただきます。

●その他

- ・今回託児サービスは行っておりませんが、小さなお子様をお連れの方につきましては、お子様と一緒にオンライン参加が可能な別室をご用意することもできますのでご相談ください。全体会・分科会へのお子様連れの参加も可能です。
- ・宿泊予約につきましては、参加者各自にてご準備下さいますようお願い致します。直前に東京会場での参加が中止になった場合の移動、宿泊に伴うキャンセル料につきましては、各自にてご負担いただきますようお願いいたします。
- ・オンライン参加の方へのURL送付は、7月14日（火）を予定しています。
- ・7月19日（日）の全体会終了後、交流会を開催いたします。参加をご希望の方は参加申込書の交流会参加希望欄に記載をお願いいたします。
- ・CPD単位の付与についてオンライン参加の方へのCPDの付与については、参加後のアンケートにご回答いただく事より付与させていただきます。

●お申込み締め切り 令和8年6月6日(土)

添付の資料4参加申込書にご記入のうえ、事務局までお申し込みください

なお、令和8年6月26日（金）以降の変更・取消に伴う参加費の返還には、応じられませんので、ご了承ください。

お申し込み先：(一社)茨城県建築士会事務局

TEL:029-305-0329 FAX:029-305-0330 Email:ibashikai0329@nifty.com

令和8年度 第35回全国女性建築士連絡協議会（東京） プログラム（案）
未来へつなぐ「まち・ひと・建築」
～ 対話から生まれるかたち ～

令和8年7月19日（日）

令和8年度 第35回全国女性建築士連絡協議会（東京）

[受付] 13:45～14:00 於：日本建築学会建築会館ホワイエ／ZOOM

[開会式] 14:00～14:20 於：日本建築学会建築会館ホール／ZOOM

- ・開会の辞
- ・主催挨拶 公益社団法人 日本建築士会連合会会長
- ・委員会担当副会長挨拶 公益社団法人 日本建築士会連合会副会長
- ・委員長挨拶、運営説明 公益社団法人 日本建築士会連合会女性委員長

= 休憩 14:20～14:30 =

[活動報告] 14:30～15:00（30分）（各15分×2）

- ・京都府建築士会「古民家の押し活を通じて地域の魅力発信」（15分）
- ・長野県建築士会「信州環境ECOコンテスト」（15分）

[被災地報告] 15:00～15:15（15分）

- ・宮城県建築士会「被災から15年『記憶の中の住まいプロジェクト』の活動」（15分）

= 休憩 15:15～15:30 =

[基調講演・質疑応答] 15:30～17:00（90分）

- 「対話が紡ぐ環境デザイン 未来へつなぐ風、光、熱のかたち」
- ・講師 建築家・SUEP. 末光弘和氏＋末光陽子氏

= 休憩（換気）17:00～17:15 =

[交流会] 17:15～18:30（75分） 於：日本建築学会建築会館 ホール

- ・ワンパイワン 17:15～18:00
- ・交流会 18:00～18:30

令和8年7月20日（月祝）

[分科会] 9:00～11:00（120分） 於：日本建築学会建築会館 3号館 3・4階／ZOOM

・A分科会「建築と経営・不動産のあいだ～私たちの職能をアップデートする～」

司会者：吉田 幸恵（北海道建築士会）

松田まり子（沖縄県建築士会）

コメンター：高橋寿太郎（創造系不動産）

・B分科会「建築教育の裾野拡大・次世代育成 ～人と人のつながりからの学び～」

司会者：大泉みどり（山形県建築士会）

コメンター：志田文子・町田裕子（岩手県建築士会）

斎藤公美（MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校）

・C分科会「次の世代にのこすために～後藤織物総合調査のこれまでとこれから～」

司会者：萩原 香（群馬建築士会）

コメンター：久保田真理子（群馬建築士会）

・D分科会『『NPO日本バリアフリーコーディネーター協会』の活動』

司会者：長瀬八州余（岐阜県建築士会）

コメンター：桂川 麻里（岐阜県建築士会）

・E分科会「鉄道好き集まれ！駅舎の利活用から広がるまちづくり」

司会者：畠中みか（和歌山県建築士会）

コメンター：笠木 和子（京都府建築士会）

・F分科会「災害に備えて建築士が今、繋がる」

司会者：渡辺 睦（岡山県建築士会）

コメンター：満原 早苗（佐賀県建築士会）

山本 周（建築ボランティアネット北陸）

＝ 全体会会場へ移動 11:00～11:15 ＝

[全体会] 11:15～12:00（45分） 於：日本建築学会建築会館ホール／ZOOM

・分科会報告（3分×6分科会）

各分科会司会者

・全体総評（3分）

連合会女性副委員長

・令和8年度第35回全国女性建築士連絡協議会アピール（3分）

連合会女性委員長

・第66回全国大会ぐんま大会参加のご案内（5分）

群馬建築士会

・令和9年度第35回全国女性建築士連絡協議会（神奈川）参加のご案内（3分）

神奈川県建築士会女性委員長

・閉会の辞

令和8年度 第35回全国女性建築士連絡協議会（東京）

開催案内図

7月19日（日）

- | | | |
|-------------------------|-------------|-----------------|
| ・全国女性委員長（部会長）会議 | 12:00～13:30 | 日本建築学会（建築会館ホール） |
| ・令和8年度 第35回全国女性建築士連絡協議会 | 14:00～17:00 | 日本建築学会（建築会館ホール） |
| ・交流会 | 17:15～18:30 | 日本建築学会（建築会館ホール） |

7月20日（月祝）

- ・分科会 9:00～11:00 日本建築学会（建築会館）
- A分科会 会場未定
- B分科会 会場未定
- C分科会 会場未定
- D分科会 会場未定
- E分科会 会場未定
- F分科会 会場未定
- ・全体会 11:15～12:00 日本建築学会（建築会館ホール）

※ 分科会の会場については、各分科会の参加者数が確定後に発表いたします。




《最寄り駅》JR 田町駅、都営三田線・浅草線三田駅

- JR 田町駅より徒歩3分
- 都営三田線・浅草線三田駅より徒歩3分

令和8年度 第35回全国女性建築士連絡協議会（東京）分科会概要一覧

分科会名称	コメンテーター	概要
A分科会 建築と経営・不動産の あいだ～私たちの職能 をアップデートする～	高橋寿太郎 （創造系不動産）	<p>「建たない時代」と言われる今、私たち設計士はどう動けばいいのでしょうか？ 今回は、建築×経営、さらに建築×不動産のあいだにある「壁」を取り払い、新しい価値を生み出し続けている創造系不動産の高橋寿太郎さんをお迎えします。高橋さんの著書『設計者のための建築不動産コンサルティングのはじめかた』にある「不動産思考」は、これからの実務に欠かせないヒントが満載です。さらに、大人気のオンラインスクール「建築と経営のあいだ研究所」で見せてくれる、型にはまらない建築家たちの多様な生き方は、私たちの可能性を大きく広げてくれます。</p> <p>この分科会では、高橋さんの知見をスパイスに、女性建築士だからこそできる「自分らしい働き方」や「強みの活かし方」を参加者みんなで語り合えたらと思います。</p> <p>建築×不動産のコラボが拓く未来、そして私たちにしかできない社会への関わり方を、もっと自由に、もっと欲張りに、これからのキャリアと一緒に考えていきましょう。</p>
B分科会 建築教育の裾野拡大・ 次世代育成 ～人と人のつながりか らの学び～	志田文子 町田裕子 （岩手県建築士会） 斎藤公美 （MCL 盛岡情報ビジ ネス&デザイン専門 学校）リモート予定	<p>子育て世代の女性建築士が、子ども連れでも参加できる環境を目指して企画した「ダンボールハウスワークショップ」が活動の出発点です。この取り組みは段階的に発展し、北上市ひきこもり地域支援センター事業所での開催や、盛岡市内の専門学校デザイン科との共同開催へとつながっています。</p> <p>また、家庭科講師を兼任する建築士との人的ネットワークを通じて、中学校から家庭科出前授業の講師派遣依頼を受け、「パズルで住まいを考えよう」というプログラムを授業内で実施するなど、教育現場との連携も具体化しています。</p> <p>当初は小規模な活動でしたが、人と人とのつながりを通じて各種学校との連携へと発展しています。建築教育の裾野拡大と次世代育成に寄与するとともに、私たち建築士にとっても、子どもの発想や学生たちの感覚から学ぶ貴重な機会となっています。</p> <p>参加者の皆さんと次世代を担う子どもたちの「今」を共有し、今後の若い世代との交流のあり方について考えていきたいと考えています。</p>

<p>C分科会 次の世代にのこすために ～後藤織物総合調査のこれまでとこれから～</p>	<p>久保田 眞理子 (群馬建築士会)</p>	<p>群馬県桐生市には、近代の桐生を代表する産業、絹織物業に関わるノコギリ屋根の工場など、江戸後期から昭和初期にかけて建てられた特色ある建造物が現存しています。その桐生市にある『後藤織物』は、創業明治3年。工場・主屋等の建築群が国登録有形文化財、日本遺産、ぐんま絹遺産、近代化産業遺産に指定されており、この建築群の構成が織物生産のシステムをそのまま現わしています。現在の所有者は、民間企業が出資しあって起ち上げた会社で、桐生の有形文化財を未来へ継承するための活動をしています。その活動として後藤織物総合調査が数年前から行われています。調査にあたっては、建築関係者だけでなく多様な人々が関わり、活動の節目ごとに、公開報告会を行っています。</p> <p>この総合調査に加わって活動した内容、これまでの地域での歴史的建造物の調査の経験、さらに、一昨年には、台湾・大溪に行き、古い建造物を活かすまちづくりを体感し学んできたことなどについて、お話しします。</p> <p>歴史的建造物である後藤織物総合調査をとおして、次の世代にのこすために、これからを考えます。</p>
<p>D分科会 「NPO日本バリアフリーコーディネーター協会」の活動</p> <p>※オンライン配信はありません</p>	<p>桂川 麻里 (岐阜県建築士会)</p>	<p>特定非営利活動法人日本バリアフリーコーディネーター協会(以下「BFCD 協会」と表記)の活動 令和6年2月に設立した協会で、医療・福祉機関、大学、公設試験研修期間と連携し、生活空間や福祉用具などをシュミレーションして、誰もが安心して暮らせるまちづくり・住まいづくりを総合的に研究し、バリアフリーを通じて社会の健全な発展に貢献することを目的とし、更に BFCD 協会の相互親睦を深め、情報交換や研修の場を提供し、職能の向上を図り、品性を磨き、他分野と協力して社会に貢献することを目的として活動しています。</p> <p>BFCD 協会の内容及び活動の一環である、利用者自らが利用可否を判断できるバリアフリー情報を提供している「I K K E L(イッケル)」についてもお話します。</p> <p>現在会員 35 名のうち 33 名が埼玉・東京・岐阜・静岡・愛知・滋賀・京都・大阪・和歌山・島根・熊本・沖縄の建築士会委員です。興味を持った方と一緒に活動していきたいです。</p>

<p>E 分科会 鉄道好き集まれ！ 駅舎の利活用から広がるまちづくり</p>	<p>笠木 和子 (和歌山県建築士会、紀伊中ノ島倶楽部代表)</p>  <p>紀伊中ノ島倶楽部 インスタグラム</p> <p>駅舎情報の投稿</p> 	<p>今、全国のJRで無人駅は約 4000 件あり、利用者数が極端に少ない駅の廃止・統廃合が進行しています。経営を考えると仕方がない事なのかもしれませんが、駅舎は人々の暮らしの記憶が凝縮されているもので、地域の顔・原風景となっている駅舎も数多く存在します。</p> <p>和歌山市にあるJR紀伊中ノ島駅もその一つで、昭和10年築のモダンな木造駅舎と古レールを使用したホーム屋根が特徴の歴史的建造物です。駅舎は老朽化を理由に解体撤去される予定でしたが、地元住民や駅舎の保存・活用を考える仲間(紀伊中ノ島倶楽部)の保存運動により駅舎は残る事となり、現在は持続可能な利活用を模索中です。</p> <p>分科会では一連の活動について報告頂くと共に、皆様から全国の残したい魅力ある駅舎や、すでに利活用が始まっている駅舎についての情報を募集し、情報交換できる分科会にしたいと思っています。ご当地自慢の駅舎情報の投稿(特にJR)、お願いいたします！</p> <p>※投稿は下記の-googleフォームからお願いします。 (左のQRコードからもアクセスできます) https://forms.gle/RBf4DLanRk8Hul.za8</p>
<p>F 分科会 災害に備えて 建築士が今、繋がる</p>	<p>満原 早苗 (佐賀県建築士会)</p> <p>山本 周 (建築ボランティア ネット北陸)</p>	<p>2016年熊本地震をきっかけに、九州の建築士のつながりにより【建築ボランティアネット】を立ち上げました。主に西原村にて、応急危険度判定の翻訳作業や被災建物の相談活動、現地の木工ボランティアとともに仮設住宅での住環境改善に向けた支援などを行いました。</p> <p>2019年の佐賀豪雨の際には、民間の災害ボランティアセンター立ち上げにも関わり、以降、佐賀での経験を元に九州圏内で発生した豪雨災害等に対し、現地での相談やオンラインで各地の建築士に向けた初動活動へのアドバイスを行いました。</p> <p>2024年の能登半島地震では、石川の建築士有志による【建築ボランティアネット北陸】が設立され、遠隔でサポートも行っています。</p> <p>建築士が横につながり情報共有すること、また、他業種他団体ともつながり関わっていく重要性などを事例とともに話しし、災害に対して私たちには何ができるのか一緒に考える場にしたいと考えています。</p> <p>能登での取り組みや現状について、建築ボランティアネット北陸の建築士もオンラインにて登壇予定です。</p>